

● 現在の経営状況*2

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	20.7 p	△ 8.7 p ↓
不動産流通業(住宅地)	2.9 p	4.3 p ↑
ビル賃貸業	8.3 p	2.5 p ↑

● 3ヶ月後経営状況見通し*3

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	0.0 p	1.5 p ↑
不動産流通業(住宅地)	△ 2.1 p	8.0 p ↑
ビル賃貸業	16.7 p	1.3 p ↑

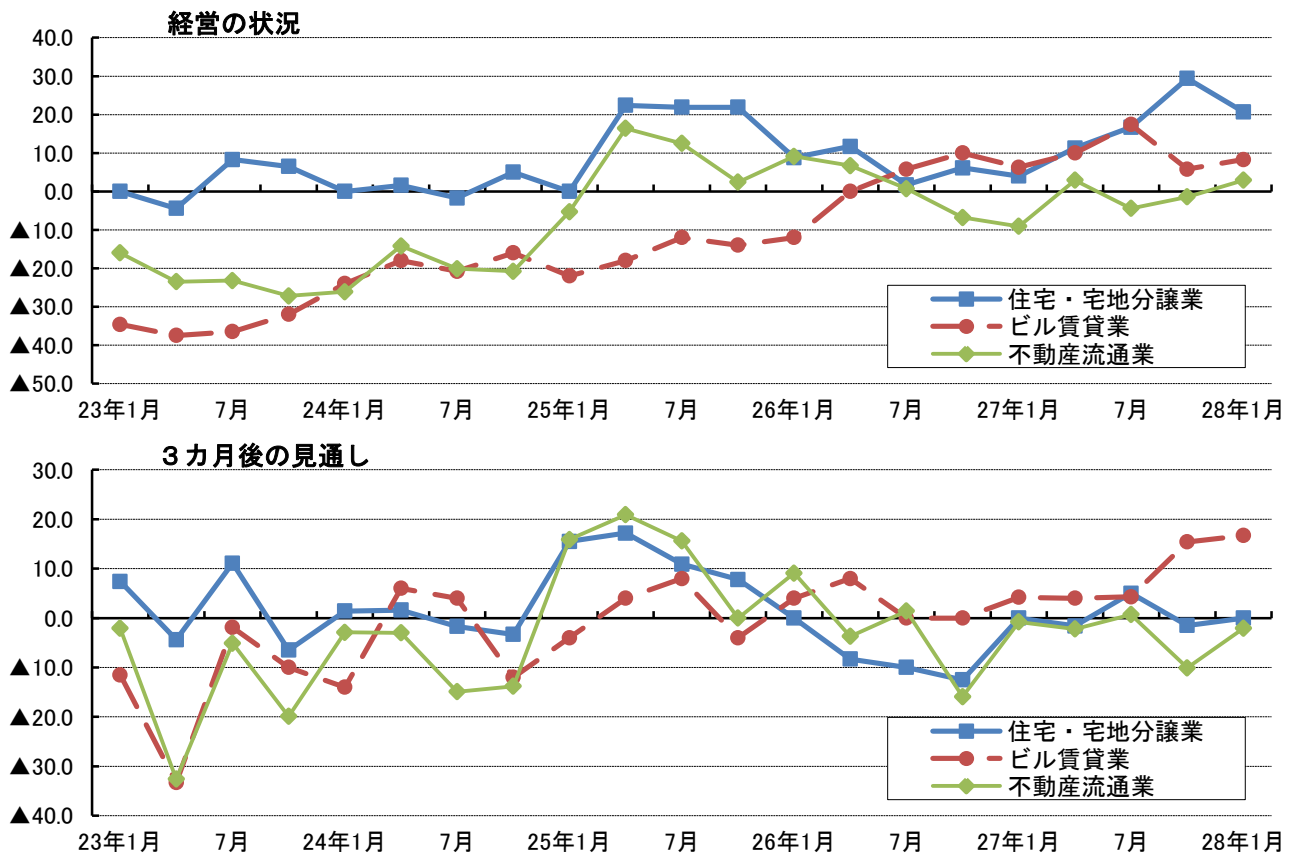
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から8.7p悪化し20.7p。
 不動産流通業は前回から4.3p改善し2.9p。
 ビル賃貸業は前回から2.5p改善し8.3p。
 いずれもプラス水準となった。

3ヶ月後の見通しは、住宅宅地分譲業、不動産流通業で悪化、ビル賃貸業で改善。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = $\{(\text{「良い」} \times 2 + \text{「やや良い」}) - (\text{「悪い」} \times 2 + \text{「やや悪い」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

*3 3ヶ月後の見通し = $\{(\text{「良くなる」} \times 2 + \text{「やや良くなる」}) - (\text{「悪くなる」} \times 2 + \text{「やや悪くなる」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$



[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)

[時系列データ\(excel\)ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第40号「不動産業業況等調査」